

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

令和7年12月4日

釧路市議会議長 畑中 優周 様

会派名 自民市政クラブ

代表者名 大澤 恵介



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	金安 潤子、山口 光信
出張先	台湾台北市、花蓮市
期間	令和7年11月10日～令和7年11月14日（5日間）
用務	台湾視察
調査（研修） 結果等の概要	別紙参照
備考	

- 注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書（原本）とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

## 令和7年度台湾視察報告書

### 1. 視察

- ・市公式訪問団 令和7年11月10日(月)～11月14日(金)
- ・釧路市立北陽高等学校訪問団 令和7年11月9日(日)～11月13日(木)

### 2 訪問先

台湾(台北市、新北市、花蓮市)

今回の台湾行政視察は、台湾との友好関係をさらに深めるとともに、教育、観光、文化、防災、環境保全など幅広い分野について先進的な取組を学び、今後の釧路市政や地域活性化へ活かしていくことを目的として実施されたものであります。

近年、台湾と北海道、さらには釧路市との交流は年々深まりを見せており、観光分野だけでなく、教育や文化、経済など多方面にわたる交流が進められております。こうした中で行われた今回の視察は、今後の継続的な連携強化に向け、大変意義深い機会となりました。

まず、教育分野においては、台北市内の学校を訪問し、釧路市立北陽高等学校との姉妹校交流に向けた意見交換や交流事業が行われました。グローバル化が急速に進展する現代社会において、若い世代が海外との交流を通じ、多様な価値観や文化に触れることは極めて重要であります。今回の交流を契機として、生徒同士の友情や相互理解が深まるだけでなく、オンライン授業や相互訪問など、継続的な教育交流へ発展していくことが期待されております。釧路の子どもたちにとっても、国際感覚を養い、自らの可能性を広げる貴重な経験になるものと考えます。

また、台北市立動物園では、釧路市から寄贈されたタンチョウや、阿寒湖を代表する特別天然記念物であるマリモの保護・展示状況について確認を行いました。タンチョウやマリモは、釧路地域を象徴する大切な自然資源であり、その保護活動は地域の誇りでもあります。現地では、台湾側による丁寧な保護・飼育管理が行われていることを確認するとともに、自然環境保全に対する意識を共有することができました。こうした取組は、環境教育や観光振興にもつながる重要な交流であり、今後も双方が連携を深めながら継続していくことが期待されます。

さらに、台北市との意見交換では、教育や文化交流のみならず、観光振興や地域間交流についても幅広い協議が行われました。台湾は北海道観光における重要な市場の一つであり、釧路地域においても台湾からの観光客誘致は大きな可能性を有しております。釧路湿原や阿寒湖、豊かな自然景観、新鮮な海産物など、釧路ならではの魅力を積極的に発信していくことで、交流人口の拡大や地域経済の活性化につながることを期待されます。また、台北ランタンフェスティバルなど文化事業を通じた新たな交流の可能性についても意見交換が行われ、今後のさらなる関係強化に期待が高まる内容でありま

した。

加えて、花蓮市では、台湾東部地震に関する被災状況や復旧対応、防災体制について視察を行いました。台湾は地震災害が多い地域であり、その経験を踏まえた防災対策には学ぶべき点が数多くありました。特に、行政だけでなく地域住民や民間団体、ボランティアが連携しながら迅速に支援体制を構築している点は非常に参考となるものでありました。また、高齢者や要配慮者への支援体制、避難所運営、情報共有のあり方などについても理解を深めることができ、今後発生が懸念される大規模災害への備えとして、釧路市においても活かしていくべき重要な視点であると感じたところであります。

今回の視察を通じて、国際交流は単なる友好親善にとどまるものではなく、教育、防災、観光、環境保全などさまざまな分野において地域の発展につながる大きな可能性を持つものであることを改めて実感いたしました。今後は、今回得られた知見や人的ネットワークを活かしながら、釧路市のさらなる発展と地域活性化につなげ、市民にとってより魅力あるまちづくりに取り組んでいくことが重要であると考えます。